



©Yuki Asada

ふわふわタオルからインドに想いを寄せて

カタカタカタ……。同じユニフォームに身を包んだ縫い子さんたちが、一心不乱にミシンを動かす音が響きます。ここは南インドのタミルナドゥ州コインバトル。この地域は生地作りや縫製で有名で、いくつもの工場があります。その一つ、80年以上の歴史を持つシャラダ社では、男性も女性も、多くのスタッフが働いています。作っているのは、インド綿100%のタオル「マイクロコットン」シリーズ。光沢感があり、吸水性に優れ、柔らかな肌触りが自慢の逸品です。

このタオル作りでは、“人と地球に優しい”がモットーに掲げられています。環境面では、生産過程で使われる染料や水などをリサイクルし、工場排水を可能な限り浄化して排出するゼロディスチ

ャージシステムを採用しています。そして、雇用面では当地でしばしば見られる児童労働はもちろん禁止。地元の人々を多く雇用することで、現金収入源として彼らの生活を支え、労働者への安全教育にも力を入れています。

このタオルの日本総発売元が、株式会社ヘリオス・ホールディングス。卸事業部の三井光石さんは、「もともとインドは綿栽培が盛んで、縫製も得意。日本のお客さんがタオルという身近な商品を手にとることで、改めてインドのことを考えるきっかけになれば、インドと日本をつなぐ役割を果たすことができたらうれしいです」と話します。

ふかふかのタオルを手にとり、これを作った人々に想いをはせてみてはいかが？



シャラダ社の工場で、次から次へとタオルを作る女性たち

★バスマットやバスタオルを5人にプレゼント！→詳細は38ページへ

★商品はホームページなどで購入できます。
<https://www.microcotton.jp/>

